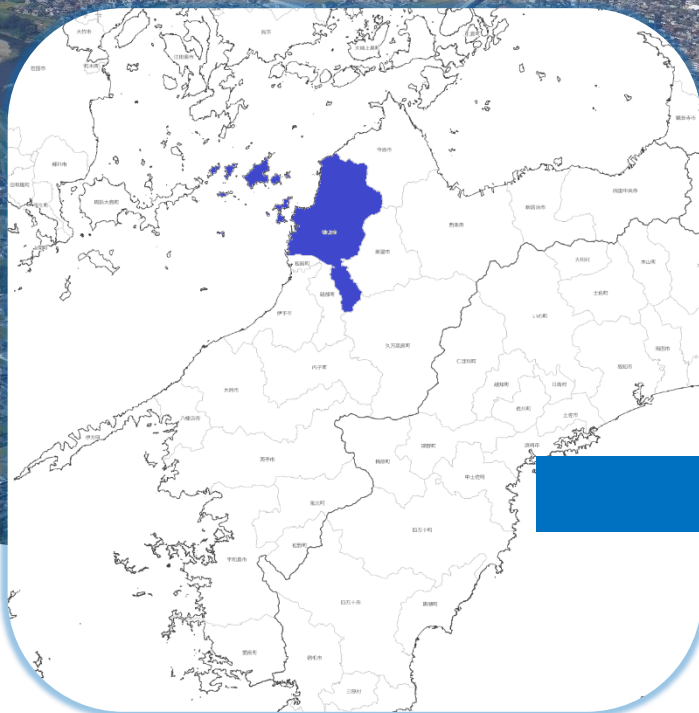


# 農地利用の最適化を強力に進めるために

～遊休農地の再生事業と新規参入相談会の充実～



松山市農業委員会

## ① 松山市の概要

### ■「春や昔 十五万石の 城下哉」

令和6年9月29日に高架化された新駅舎が開業したJR松山駅に降り立つと、伊予の青石に刻まれた正岡子規の句碑が旅人を出迎えてくれる。この句は従軍記者として日清戦争に赴く子規が明治28年（1895年）に松山に帰郷した際に詠んだもので、幕府の親藩であった久松松平家の威光も今は昔となったが、松山藩士の家に生まれた子規が松山城を中心とした城下町を誇りに思っていたことが伝わってくる松山の代表句である。

往時から130年余りの時が流れ、城下町であった松山市の市域は周辺の町村との合併により段階的に拡大してきたが、平成の大合併による旧北条市、旧中島町と合併を経て最終的に今日の姿となった。

令和8年1月1日の松山市の推計人口は494,064人、面積は42,935ヘクタールである。



松山城

## ■農業の概況

令和7年3月31日現在の松山市の農地面積は市域の面積の約20パーセントとなる8,610ヘクタールであり、農業者数は19,015人である。また、2020年農林業センサスによると農家戸数は4,455戸となっている。

気候は温暖で夏季の降水量が少ない瀬戸内海式気候に属し、平年値は気温が16.8℃、降水量が1,404.6mmである。

重信川と石手川の扇状地性沖積平野である松山平野には、かつては米麦二毛作地帯が広がっていたが、都市計画法が施行され市街化区域内の開発が進んだことで、市街地の農地は姿を消していった。一方で、旺盛な都市需要や松山市中央卸売市場への出荷に支えられ、郊外では都市近郊型野菜産地が発達し、たまねぎ等は野菜生産出荷安定法の指定産地となっている。



松山市中央卸売市場



多様な中晩柑類

北部の丘陵地帯や島嶼部は領家帯花崗岩に覆われ、水はけの良い風化花崗岩である真砂土を活かした柑橘類の生産が盛んである。松山市内には約1,000名の認定農業者がいるが、そのうち約7割は生産量日本一の伊予柑を基幹品種として、高単価が期待できる中晩柑類を生産することで安定した経営を実現している。

また、沿岸部や島嶼部には無霜地帯が広がっており、アボカド等の熱帯果樹が生産されている。

## ■まつやま農林水産物ブランド

産官学連携で設置されたまつやま農林水産物ブランド化推進協議会では、市場性や独創性、信頼性、将来性といった基準を満たす農林水産物をまつやま農林水産物ブランドとして認定し、市長によるトップセールス（QRコード参照）や加工開発への補助金等を通して、認知度の向上や販路の開拓、消費の拡大に取り組んでいる。

農産物では「紅まどんな」、「せとか」、「カラマンダリン」、「松山長なす」、「松山一寸そらまめ」、「伊台・五明こうげんぶどう」、「グニージュカリ」、「松山アボカド」、「興居島レモン」の9品目が認定されている。



松山一寸そらまめ



松山アボカド



大田市場での紅まどんな  
トップセールスの動画

## ② 松山市農業委員会の体制

### ■松山市農業委員会の沿革

松山市農業委員会は、昭和26年の農業委員会等に関する法律施行に伴い、旧農地調整法に基づく戦前からの農地改革の実施機関であった農地委員会、農業改良助長法に基づく農業改良普及事業の運営に関する諮問機関であった農業改良委員会の地区委員会、旧食糧確保臨時措置法に基づく生産数量の指示機関であった農業調整委員会の3委員会の機能統合により設置された。

同年7月20日に第1回選挙が執行され、15名の公選委員と5名の選任委員により松山市農業委員会が発足した。発足当時の事務局職員は農地委員会時代と同じ30名だった。同年7月29日には農業委員会松山市協議会も発足している。

その後も時代の要請に応じて、農業委員会の役割や委員選出の方法は変化してきたが、農業者の代表機関である独立した行政委員会として、農業生産力の増進と農業経営の合理化に取り組んでいる。

### ■松山市農業委員会の組織図

令和8年1月31日現在



### ③ 農地再生チャレンジ支援事業

つなぐ、  
未来へ。

## 農地再生チャレンジ支援事業

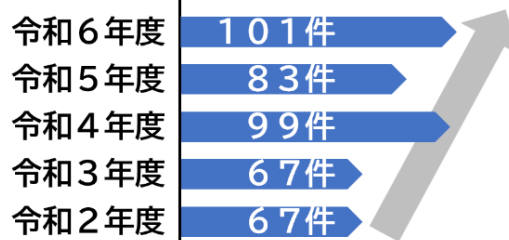
松山市農業委員会は  
令和7年度から遊休農地を再生し担い手への貸付けを行う  
「農地再生チャレンジ支援事業」を開始

#### ■事業化の背景

松山市農業委員会は、農業者等から農地法第31条第1項に規定する遊休農地に関する申出があった場合、同条第2項に規定する適切な措置として、平成25年法律第102号による改正前の同法第30条第3項に規定されていた指導を準用し、農地の利用状況を調査の上、耕作権を有する者への指導を行っている。

利用状況の調査に際し、あらかじめ法務局で公用請求により登記情報等を取得していた（令和7年度途中からは国の登記情報連携システムを利用）が、遊休農地に関する申出の増加に伴い、公用請求の事務が大きな負担となっていた。

また、同じ農地が繰り返し指導の対象になる場合も多いことから、抜本的な解決策が求められていた。



遊休農地への指導件数の増加

## ■ 関係機関との連携体制の確立

行政委員会である農業委員会には、地方自治法第180条の6第1号の規定により予算の調製及び執行権がないため、新規事業は市長の権限に属する事務として事業化し、同法第180条の2の規定に基づき農業委員会が補助執行する必要がある。

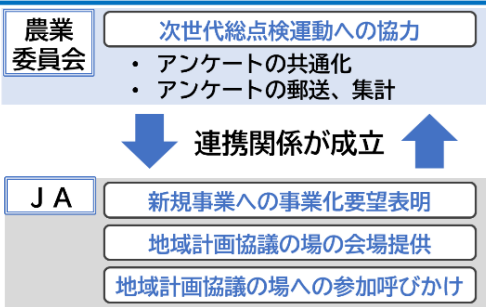
また、松山市農業委員会が単独で遊休農地の再生を行うことは困難なため、関係機関との連携を前提に事業化の枠組みを考えた。

まず、農地中間管理機構の「遊休農地解消緊急対策事業」について、公益財団法人えひめ農林漁業振興機構にヒアリングしたところ、実際の再生作業は外部に委託していること、10アールあたり4.3万円以内の委託料の上限を超えた費用について、他の事業を併用しても差し支えないとの回答を得た。

これを受けて、管内の2つのJAにサウンディング調査を実施したところ、相互協力の形であれば松山市農業委員会による遊休農地再生事業に協力できるとの回答を得た。

そこで、令和6年度当時にJAグループが実施していた「次世代総点検運動」のアンケートと、松山市農業委員会による地域計画のアンケートを共通化することで、遊休農地の再生に係る事業化要望や地域計画への協力を取り付けた。

JAとの連携を実現



JAとの連携内容

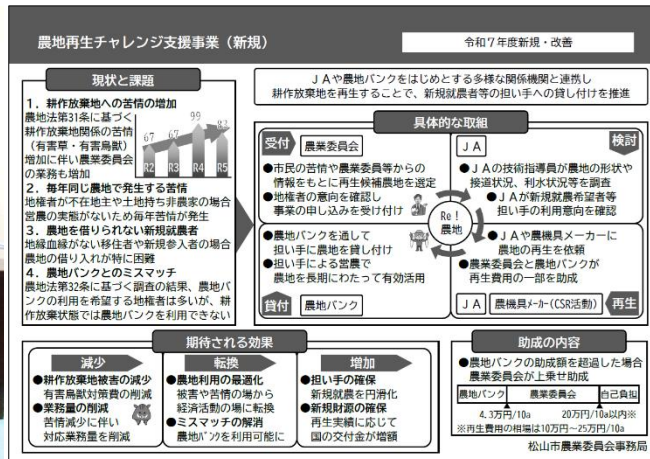
## ■ 事業化要望

令和6年8月29日に、市と農業委員会及び関係機関が連携して遊休農地を解消するモデル事業を実施するよう、農業委員会等に関する法律第38条第1項に基づく意見書を市に提出した。

実際の事業化事務は、意見書の提出に先立つ7月5日に市へ新規事業化要望の調書を提出することから始まった。農業委員会による新規事業化要望は異例とされたが、JAの後押しも得て予算案への上程が認められ、令和7年3月13日に議会の委員会での説明を経て3月21日には市議会で「農地再生チャレンジ支援事業」の予算が原案どおり採決された。



副市長に意見書を提出



調書に添付したポンチ絵

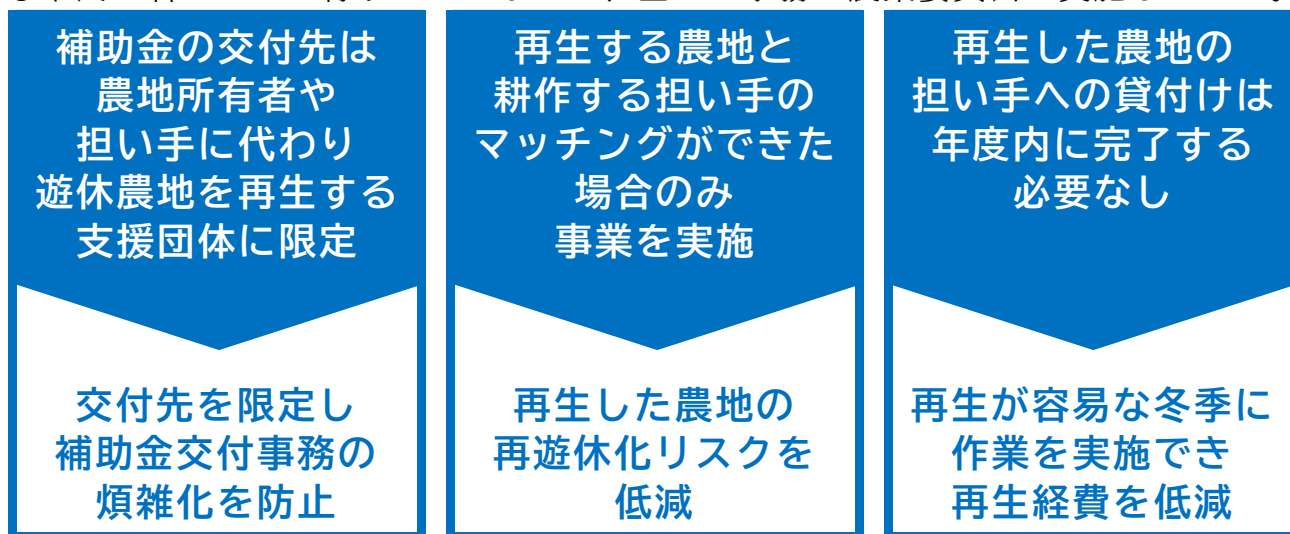
## ■事業の3つのポイント

予算の成立を受けて制度の詳細設計を行った。制度設計にあっては、事務の煩雑化防止と再生された農地の再度の遊休化を防ぐことを念頭に置いた。

また、JAへのサウンディング調査の際に、再生後の農地の年度内貸付けが要件となると、冬季に実施する再生作業に支障があるとの声が寄せられたことから、農地の貸付けは所有者による確約があれば足ることとした。

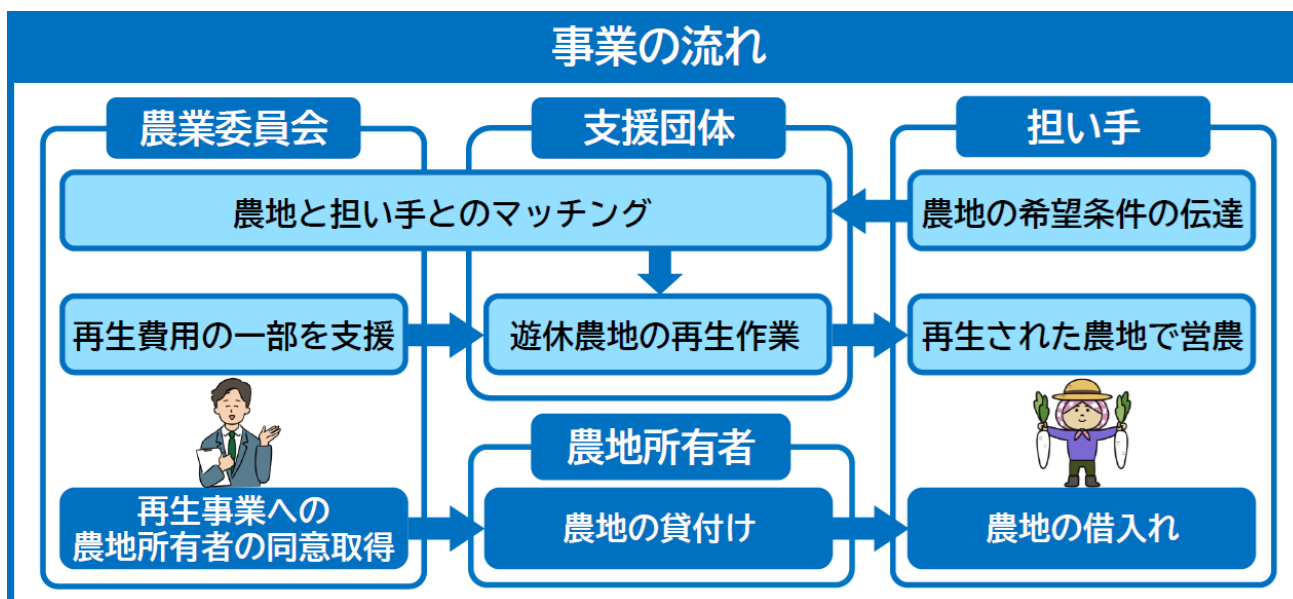
詳細設計を元に農地再生チャレンジ支援事業補助金交付要綱を作成し、松山市公告式条例に基づき公告した。

なお、予算の執行権の関係上、補助金の交付申請は市長に対して行い、交付決定も市長の名において行うこととしたが、全ての事務は農業委員会が実施している。



## ■事業の流れ

松山市農業委員会は支援団体に遊休農地の情報を提供することで、支援団体による農地と担い手のマッチングを支援する。マッチングが成立した場合は、農業委員会が事業実施に係る農地所有者の同意を取得し、実際の再生作業が行われる。



## ■補助金の単価及び予算規模

農地再生チャレンジ支援事業の補助金は、10アールあたり最大20万円以内の範囲で再生に要した経費の実費を支援することとしている。

なお、農地中間管理機構の「遊休農地解消緊急対策事業」を併用する場合、同事業による補助（委託料）相当額は補助金の額から控除する。

### 10a（1000㎡）の遊休農地を再生した場合の支援の例

- ① 再生費用が10万円の場合（遊休農地解消緊急対策事業と協調支援）

4.3万円

5.7万円

- ② 再生費用が23万円の場合（遊休農地解消緊急対策事業と協調支援）

4.3万円

15.7万円

3万円

- ③ 再生費用が23万円の場合（遊休農地解消緊急対策事業なし）

20万円

3万円

■遊休農地解消緊急対策事業の補助

■本事業の補助

■支援団体の負担

令和7年度の農地再生チャレンジ支援事業補助金は266.9万円の予算を計上した。仮に10アールあたりの再生経費が15万円で、農地中間管理機構の「遊休農地解消緊急対策事業」と協調支援ができたとした場合、松山市農業委員会の補助金負担は10アールあたり10.7万円となる。これは再生面積にして2.5ヘクタール相当の予算規模となる。

また、松山市農業委員会の推進事務費として、補助金とは別に34.6万円の予算を計上している。

## ■令和7年度の交付決定先

令和7年度は4つの支援団体から交付申請があり、いずれも交付決定を行った。

市内の総合農協A

再生作業は外部に委託  
新規就農研修生が農地を借入れ

市内の総合農協B

職員が重機で農地を再生  
組合員が農地を借入れ

市内の青年農業者組織

組織として農地を再生  
会員の青年農業者が農地を借入れ

市内の移住支援NPO法人


構成員が農地を再生  
移住者が農地を借入れ



## ■農機具メーカー等との連携

農地再生チャレンジ支援事業の補助金予算には限りがあるため、より多くの遊休農地を再生するため、農機具メーカーのCSR活動と連携し再生作業の一部を農機具メーカーに実施していただくこととした。

事業化要望段階で企画資料を作成し、国内の農機具メーカーに提案交渉したところ、令和7年度は県内に店舗を有する農機具メーカー系列販社との連携について内諾を得ており、現在実施に向けて支援団体と調整中である。



**耕作放棄地再生イベントのご提案**

松山市農業委員会事務局

**事業者様との連携イベント**


CSR活動で耕作放棄地の再生に取り組む事業者様と耕作放棄地の再生イベントの開催を計画しています

松山市農政担当課

地域の農業者への周知協力を依頼

松山市農業委員会  
報道発表資料の配布

松山市市政記者クラブ  
新聞社や民放等13社が加盟



- 地域の農業者の来場
- メディアの報道による  
県域単位での顧客層へのリーチ

松山市農業委員会事務局 5

## 【資料】農地再生チャレンジ支援事業補助金の対象となる再生作業及び経費

再生作業	内容
草・灌木の除去	刈払い、伐採等
根・地下茎の除去	伐根、除根等
耕起・整地等	耕起、深耕、砕土、整地、雑物除去等
その他の作業	除草剤の散布、廃棄物の処分等

経費の区分	内容
報酬	パートタイム雇用者賃金
共済費	保険料
報償費	再生作業等の外部講師、指導員、協力者等への謝礼等
旅費	普通旅費、市内旅費、費用弁償、実費弁償等
需用費	消耗品費、燃料費、写真等の印刷製本費、光熱水費、修繕費、除草動物に与える飼料費、除草剤等の医薬材料費等
役務費	通信運搬費、パートタイム雇用者募集等の広告料、手数料、外国人雇用等に伴う筆耕翻訳料等
委託料	委託料
使用料及び賃借料	会場等の施設使用料、農業用機械等運搬に伴う高速道路使用料、農業用機械等賃借料等
原材料費	被覆資材等の工事材料費
公課費	委託契約に伴う印紙代

## ④ 新規参入相談会の充実

### ■ 関係機関との連携による新たな取り組み

松山市農業委員会では、令和4年2月2日付け3経営第2584号農林水産省経営局長通知に基づき新規参入相談会に参加してきたが、令和7年度から関係機関と連携し、新規参入相談会への参加回数を増やしている。

令和7年12月6日には、JAグループ愛媛担い手サポートセンターと連携し、愛媛県就農体験ツアーの就農相談会に県内農業委員会として初めて出展した。

また、令和8年1月8日には、松山市農業指導センターと連携し、担い手農家育成研修に参加し、研修生に農地制度等の講義を行っている。

令和8年度は県外で開催予定の各種移住フェアへの出展も計画している。



愛媛県就農体験ツアーへの出展



担い手農家育成研修での講義

### ■ 商標について

本稿に掲載されている商品名及びサービス名等は、下記の登録商標をはじめ一般に各社の登録商標または商標です。なお、本稿では「®」、「™」は明記していません。

- ・「紅まどんな」は全国農業協同組合連合会の登録商標です。
- ・「QRコード」は株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

### ■ 画像の著作権について

・本稿は以下の著作物を改変して利用しています。1 P:外環状道路空港線周辺（令和4年度撮影）、松山城④、2 P:松山市中央市場青果棟写真、3 P:市庁舎本館、4 P:忽那諸島 No.2。以上いずれも松山市、クリエイティブ・コモンズ・ライセンス 表示 4.0

(<http://creativecommons.org/licenses/by/4.0/>)

・本稿は以下の著作物を改変して利用しています。2 P:多様な中晩柑類、松山一寸そらまめ、松山アボカド。以上写真提供「マルっと まつやま」

・本稿に掲載の著作物又は掲載の画像内の付随対象著作物は、以下のサイトの利用規約に基づき利用しています。「icooon-mono (<https://icooon-mono.com>)」、「ONWAイラスト(<https://onwa-illust.com>)」、「ぱくたそ(<https://www.pakutaso.com>)」



MATSUYAMA  
OPEN DATA